

巻数		章	節	開始 ページ
第1巻	通史		口絵	
第1巻	通史		発刊にあたって 保原町史編集委員長 保原町長 金子徳之介	
第1巻	通史		序—監修を終えて 東京大学教授 大石嘉一郎	
第1巻	通史		本文目次	
第1巻	通史		例言	
第1巻	通史		自然	
第1巻	通史	1	保原町の自然のなりたち	3
第1巻	通史		(1) 先新第三紀(土台石形成の時代)	5
第1巻	通史		(2) 新第三紀前半(海の時代)	6
第1巻	通史		(3) 新第三紀後半(陸地の時代)	9
第1巻	通史		(4) 第四紀(盆地形成の時代)	9
第1巻	通史	2	地質	13
第1巻	通史		(1) 先第三紀基盤岩	15
第1巻	通史		(2) 新第三紀層	15
第1巻	通史		1 霊山層	16
第1巻	通史		2 梁川層	18
第1巻	通史		3 荒野凝灰岩部層	19
第1巻	通史		(3) 第四紀層	19
第1巻	通史		1 段丘と構成層	19
第1巻	通史		2 盆地下の第四紀層	20
第1巻	通史		(4) 地質構造	23
第1巻	通史		(5) 鉱床	24
第1巻	通史		1 高子鉱山	24
第1巻	通史		2 柱田鉱山	25
第1巻	通史		3 富保鉱山	25
第1巻	通史		(6) 地下水	25
第1巻	通史	3	地形	27
第1巻	通史		(1) 地形の成り立ち	27
第1巻	通史		1 地形単元上の位置	27
第1巻	通史		2 切峰面・起伏量・水系・傾斜分布燈の特色	27
第1巻	通史		3 周辺地域の地形との関係	30
第1巻	通史		(2) 地形地域各説	31
第1巻	通史		1 南部丘陵性山地	31
第1巻	通史		2 山麓台地	33
第1巻	通史		3 北部低地Ⅰ—沖積面	34
第1巻	通史		4 北部低地Ⅱ—阿武隈川氾濫原	34
第1巻	通史		(3) 環境としての地形	36
第1巻	通史	4	気候	39
第1巻	通史		(1) 気温	39
第1巻	通史		(2) 日照	41
第1巻	通史		(3) 湿度	42
第1巻	通史		(4) 風向・風速	43
第1巻	通史		(5) 降水	45
第1巻	通史		(6) その他	47
第1巻	通史	5	生物	47
第1巻	通史		(1) 保原町の植生	47
第1巻	通史		1 自然植生	47
第1巻	通史		(1) 気候的極相	48
第1巻	通史		(2) 地形・土壌的極相	52

第1巻	通史	2 現存植生	53
第1巻	通史	(2) 特記すべき動植物	56
第1巻	通史	1 旧保原陣屋跡のケヤキ	56
第1巻	通史	2 高岩寺のイチヨウ	56
第1巻	通史	3 二井田前原のサクラ	57
第1巻	通史	4 富沢高福寺のシダレザクラ	57
第1巻	通史	5 八幡台の駒止の松	57
第1巻	通史	6 富沢諏訪神社のスギ樹群	58
第1巻	通史	7 富成小学校のシラカシ	58
第1巻	通史	8 高子沼のマミズクラゲ	59
第1巻	通史	原始・古代	
第1巻	通史	1 原始時代の保原地方	63
第1巻	通史	(1) 旧石器時代	63
第1巻	通史	(2) 縄文時代	66
第1巻	通史	1 縄文式土器と時期区分	66
第1巻	通史	(1) 縄文時代早期	66
第1巻	通史	(2) 縄文時代前期	67
第1巻	通史	(3) 縄文時代中期	67
第1巻	通史	(4) 縄文時代後期	68
第1巻	通史	(5) 縄文時代晩期	69
第1巻	通史	2 縄文時代人の生活	69
第1巻	通史	(3) 弥生時代	71
第1巻	通史	2 古墳時代の保原地方	75
第1巻	通史	(1) 大和朝廷の進出	75
第1巻	通史	1 古墳文化の発展	75
第1巻	通史	2 信達地方の古墳	77
第1巻	通史	3 保原町の古墳	79
第1巻	通史	(2) 国造の設置	82
第1巻	通史	1 国造の系譜と役割	82
第1巻	通史	2 氏姓制度と部民	84
第1巻	通史	3 古代の集落	85
第1巻	通史	(1) 古代集落の構造	85
第1巻	通史	(2) 古代集落の構成	88
第1巻	通史	3 律令制と保原地方	91
第1巻	通史	(1) 大化改新と国郡の設定	91
第1巻	通史	(2) 陸奥国の成立	91
第1巻	通史	(3) 信夫郡の郷と郡衙	93
第1巻	通史	(4) 条里制と農民	97
第1巻	通史	(5) 古代の信仰	100
第1巻	通史	(6) 仏教の受容と発展	102
第1巻	通史	1 廃寺跡と窯跡	102
第1巻	通史	2 大蔵寺千手観音	104
第1巻	通史	4 陸奥の開拓と保原地方	107
第1巻	通史	(1) 伊達郡の分置	107
第1巻	通史	(2) 軍団と征夷	109
第1巻	通史	(3) 信達地方の豪族	111
第1巻	通史	(4) 延喜式の神々	114
第1巻	通史	5 奥州藤原氏と保原地方	117
第1巻	通史	(1) 武士の台頭と佐藤氏	117
第1巻	通史	(2) 阿津賀志山の合戦	119
第1巻	通史	中世	
第1巻	通史	1 中世の保原地方	125
第1巻	通史	2 中村氏の入部	129

第1巻 通史	(1) 伊達氏の居住地	129
第1巻 通史	(2) 村の開発	131
第1巻 通史	3 地頭と農民	135
第1巻 通史	(1) 地頭の分布	135
第1巻 通史	(2) 地頭堀の内	136
第1巻 通史	(3) 在家農民	138
第1巻 通史	(4) 市場	139
第1巻 通史	4 南北朝の動乱	143
第1巻 通史	(1) 元弘の乱	143
第1巻 通史	(2) 建武新政	144
第1巻 通史	(3) 足利尊氏の反逆	145
第1巻 通史	(4) 南北両党の争い	146
第1巻 通史	(5) 内乱のあと	151
第1巻 通史	5 上方への旅	155
第1巻 通史	(1) 文化の将来	155
第1巻 通史	(2) 熊野へのあこがれ	156
第1巻 通史	6 保原の村々	159
第1巻 通史	(1) 開発の状況	159
第1巻 通史	(2) 中世後期の在家	160
第1巻 通史	(3) 村々の地頭	162
第1巻 通史	7 戦国争乱	167
第1巻 通史	(1) 天文の乱	167
第1巻 通史	(2) 中島氏の帰服	172
第1巻 通史	(3) 中島氏の金山移封	174
第1巻 通史	(4) 伊達政宗の仙道制覇	175
第1巻 通史	(5) 摺上原の戦い	177
第1巻 通史	(6) 伊達武士の移封	179
第1巻 通史	近世	
第1巻 通史	1 幕藩制成立期の保原町	183
第1巻 通史	(1) 秀吉の奥羽仕置と蒲生・上杉の支配	183
第1巻 通史	1 蒲生氏郷の会津入部とその支配	183
第1巻 通史	2 伊達政宗の信達所領の没収	185
第1巻 通史	3 文禄三年蒲生領高目録と保原の村々	187
第1巻 通史	4 上杉景勝の会津就封と信達領有	191
第1巻 通史	(1) 神指城の築城と領内支配・主要街道の整備	191
第1巻 通史	(2) 伊達政宗の信達侵攻と松川の合戦	193
第1巻 通史	(2) 上杉景勝の米沢移封と三〇万石支配	196
第1巻 通史	1 上杉米沢藩の信達支配	196
第1巻 通史	2 四郡役渡部新左衛門と東根郷の村々	201
第1巻 通史	(1) 東根上郷の新田開発	201
第1巻 通史	(2) 東根堰(砂子堰)の開さく	203
第1巻 通史	3 承応明暦の改革と万治の定納帳	204
第1巻 通史	(1) 八歳の藩主	204
第1巻 通史	(2) 承応明暦の改革	206
第1巻 通史	(3) 万治の御蔵給人定納帳	209
第1巻 通史	4 邑鑑とその周辺	218
第1巻 通史	(3) 信達幕領の形成	224
第1巻 通史	1 いわゆる寛文削封	224
第1巻 通史	(1) 綱憲相続の経緯	224
第1巻 通史	(2) 伊達信夫の上り知と城明渡し	225
第1巻 通史	2 初期幕領と総検地	228
第1巻 通史	2 幕藩制展開期の保原町	249
第1巻 通史	(1) 本多福島藩と保原	249

第1巻 通史	(2) 第二次幕領と両郡の分割	250
第1巻 通史	1 代官柘植伝兵衛の支配	250
第1巻 通史	2 両郡の分割	251
第1巻 通史	3 白河藩分領の成立と保原陣屋	253
第1巻 通史	(1) 白河藩主松平氏の出自と信達分領	253
第1巻 通史	(2) 保原陣屋支配下の村々	255
第1巻 通史	(3) 陣屋町保原の発展	259
第1巻 通史	3 幕藩制解体期の保原町	265
第1巻 通史	(1) 白河藩保原陣屋をとりまく領主変遷	265
第1巻 通史	1 磐城平藩分領の成立と梁川陣屋の支配	265
第1巻 通史	2 幕領梁川・川俣および桑折代官	270
第1巻 通史	(2) 白河藩制下の保原	278
第1巻 通史	1 天明の飢饉と寛政の改革	278
第1巻 通史	(1) 松平定信の家督相続と分領支配	278
第1巻 通史	(2) 定信の老中就任と寛政改革	281
第1巻 通史	2 松平定信の信達分領巡見	283
第1巻 通史	3 農村の変化	284
第1巻 通史	(1) 家族構成と持高構成	284
第1巻 通史	(2) 土地の移動	293
第1巻 通史	(3) 凶作と農民	320
第1巻 通史	(4) 蚕糸業の展開	335
第1巻 通史	(5) 保原市と諸商人	350
第1巻 通史	(6) 東根郷の助郷	376
第1巻 通史	4 幕末維新时期の保原町	385
第1巻 通史	(1) 領主の変遷と領主制の崩壊	385
第1巻 通史	1 白河分領村々と収公と預かり支配	385
第1巻 通史	2 白河・棚倉藩主阿部氏の支配	386
第1巻 通史	(1) 阿部氏の就封と信達分領	386
第1巻 通史	(2) 陣屋役人の不正と天保の飢饉	389
第1巻 通史	3 足守藩分領の成立と中瀬・大塚村	391
第1巻 通史	4 松前氏の梁川移封と金原田・泉沢村	393
第1巻 通史	5 刈谷藩分領の再村替えと大立目・富沢村	395
第1巻 通史	6 幕府代官の支配と保原の村々	397
第1巻 通史	(2) 村方騒動と世直し	400
第1巻 通史	1 村方騒動	400
第1巻 通史	(1) 村役人の選出と村政処理をめぐる紛争	401
第1巻 通史	(2) 名主不正追求運動	403
第1巻 通史	(3) 村内組分け要求出入り	405
第1巻 通史	(4) 「悪の名主」追放運動	407
第1巻 通史	(5) 菅野八郎口書三五カ条	409
第1巻 通史	2 山論と砂子堰問題	411
第1巻 通史	(1) 入会・山論	411
第1巻 通史	(2) 砂子堰の改修問題	413
第1巻 通史	3 慶応二年信達一揆	416
第1巻 通史	(1) 一揆の原因	416
第1巻 通史	(2) 蚕種製造の独占と統制	419
第1巻 通史	(3) 幕末の助郷紛争	421
第1巻 通史	(4) 生糸・蚕種の改印と新税	423
第1巻 通史	(5) 信達地方の打ちこわし	424
第1巻 通史	(6) 一揆の結果	426
第1巻 通史	(3) 戊辰東北戦争と保原	428
第1巻 通史	1 幕末の阿部氏	428
第1巻 通史	2 戊辰東北戦争前の保原	429

第1巻	通史		3 東北戦争下の保原	430
第1巻	通史		4 二重支配下の保原	434
第1巻	通史	5 近世の文化		437
第1巻	通史	(1) 白雲館の活動		437
第1巻	通史	1 初期		437
第1巻	通史	2 台州の時代 前期		443
第1巻	通史	3 台州の時代 後期		449
第1巻	通史	4 盤谷の時代		453
第1巻	通史	(2) 幕末の南画家 熊坂適山		455
第1巻	通史	1 熊坂適山、保原に生まれる		458
第1巻	通史	2 適山、浦上春琴や田能村竹田らに師事する		460
第1巻	通史	3 郷里、通神草堂での制作		462
第1巻	通史	4 円熟期の適山		464
第1巻	通史	5 晩年の適山		465
第1巻	通史	(3) 菅野八郎の思想		466
第1巻	通史	1 幕末金原田農民としての生活信条		468
第1巻	通史	2 形成されつつある変革的主体者としての思想		474
第1巻	通史	近代		
第1巻	通史	1 明治の新政策と保原		477
第1巻	通史	(1) 明治維新と行政の変遷		477
第1巻	通史	1 「桑折県」と保原		477
第1巻	通史	2 「巡察使」「按察使」と元福島県		479
第1巻	通史	3 館藩の時代		479
第1巻	通史	4 廃藩置県と館県・青森県		481
第1巻	通史	5 旧福島県の成立と大区小区制		483
第1巻	通史	6 民会の開設		485
第1巻	通史	7 明治七年の区制改革と民会の再編		488
第1巻	通史	8 民会の発展		490
第1巻	通史	9 「福島県民会」への足どり		493